

玉川上水ミニ観察会

1月10日

ヤブコウジ、マンリョウ、ナンテン、ノイバラ、アオキ、ソヨゴの赤い実、ヤツデの白い実。ドウダンツツジの赤くて小さい冬芽、ユズリハの紅色の葉柄、イボタやスイカズラの赤銅色の葉。色を探して歩いているような観察会でした。

春まで枯れ葉を枝にくっつけているヤマコウバシがあちこちにあり、枯葉なのに空に向かって輝いているように見えます。秋に葉を揉むと芳香がありましたが、もう匂いはしませんでした。ヤマブキのズイを竹に詰めてヤマブキ鉄砲を作ったよとか、シュロの葉を経糸にしてハエたたきをつくったよというお話がおもしろく、作ってみたいになりました。シジュウカラとメジロとコゲラが法面のシラカシの枝でにぎやかにしていました。(オガワ)



マンリョウ

署名活動+ミニ観察会

@小平中央公園南西入口(兎橋)

5月1日(日)、6月5日(日)、
7月3日(日)、8月7日(日)(予定。雨天中止)

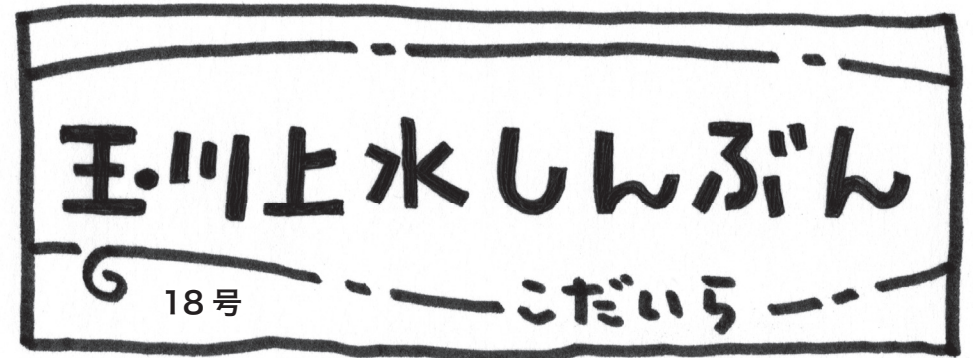
10:30-12:00頃 ミニ観察会

講師：大石征夫さん

【参加申込み・問合せ】

090-8341-9170(水口)

*玉川上水しんぶんメール配信の申込みは以下へお願いします。
midoritsunagari@gmail.com



発行日：2022年4月1日

題字：石渡希和子

発行人：みどりのつながり市民会議 <https://midoritsunagari.wordpress.com/>

問合せ先：電話 090-8341-9170 メール midoritsunagari@gmail.com

「玉川上水 46 億年を歩く」を歩いてみて

リー智子

アインシュタインは、世界からたった一つの種であるハチがいなくなれば、人は生きていけなくなると予言した。現在ハチのみならず、様々ないきものが絶滅に瀕している。しかしそのことが自分の生活とどう関係しているのかを考えることは難しい。

そこで、身の回りに生きている様々ないきものたちに意識を向け、観察してみることから始めた。驚くことに玉川上水では、今まで見たこともなかったいきものたちが目の前につぎつぎと現れ、これほど豊かな世界があったのかと気がつく。それらの生き物が私たちとどう繋がっているかを知りたくて生命の歴史を遡っていくと、全ての生命はたった一個の細菌から始まったということだった。そういう長い歴史を、歩くことで体験しようとい

うのがこのプロジェクトの醍醐味である。

玉川上水（羽村の取水堰から皇居まで）の46kmを地球史46億年に見立てたマップを手に歩くと、橋は年表の目盛りとなり、生命はいつ頃生まれ、どのくらいの時間を経て今に至ったかを感じることができた。

46億年を1日で歩いたゴールでは、まるで祭りのような興奮に包まれた。地域での繋がりは、生物の繋がりにも似ている。祭りによって人々はつながり、つながることは生命維持につながる。ゴールではそんなことを考えた。歩いた様子を撮影した映画が完成し、その上映を実施している。2022/5/21（土）午後2時に、赤坂にあるドイツ文化センターにて上映の予定、是非ご参加下さい。



玉川上水と小平用水路の水質調査

小平には新堀用水や小川用水など9本の用水路があります。総延長はおよそ50kmです。用水路には小平監視所から多摩川の水が流れています。一方、玉川上水と野火止用水には昭島の水再生センターから下水の高度処理水が流されています。これらの水質はどのようなのでしょうか？

「身近な水環境の全国一斉調査」は毎年全国の2000～3000地点で、水質（COD＝有機物濃度）調査を行っています。当団体も2020年、2021年にこれに参加しました。

CODとは水中の有機物を濃度mg/lで表しています。0～3mg/lはきれいな水でヤマメやアユ、3～6mg/lはやや汚れている

水質調査の結果		COD mg/l						
測定箇所	2020年	2020年	2020年	2021年	2021年	平均値		
玉川上水	東の鷹橋	5	5	5	4	5	4	4.67
小平用水路	新堀用水胎内堀出口	1	1	1	1	1	1	1.00
	新堀用水東の鷹橋	1	2	1	2	1	2	1.50
	小川用水府中街道交差	1	2	2	2	3	3	2.17
	回田分岐水門	3	2	3	1	5	1	2.50
	田無用水	2	3	3	3	2	3	2.67

てコイやフナなどが住むことができます。6mg/l以上では魚は住みにくく、ヒルなどが住んでいます。

玉川上水の水は大規模な下水処理場の処理水の為非常にコンスタントな水質となります。一方小平用水路の胎内堀出口から田無用水までの測定点間距離はおよそ6kmです。その平均値の欄を見ると下流に行くに従って水質が悪くなっているのが解ります。用水路の水質はほぼ一定と考えていましたが、2年間の数値を集計すると意外な結果となりました。途中で何かの排水が流入しているのでしょうか？

今年も環境月間の6月に水質調査を行います。参加募集は改めてご連絡いたしますのでご参加ください。（松山）